参加費無料　公開講座開催

期日　2020年3月1日（日）
14時～16時（受付13時30分）
場所　本願寺山科別院 本堂
（京都市山科区東野狐藪町2）
講師　浅井定雄氏
ふるさとの良さを活かした町づくりを進める会（略称：ふるさとの会）事務局長
講題　戦国時代の環濠城塞都市
山科本願寺と寺内町
主催　本願寺山科別院
協賛　ふるさとの良さを活かした町づくりを進める会

浅井定雄氏

どなた様でも参加できます。皆様お誘い合わせのうえ山科別院へお越しください。

二〇一九（令和元）年　報恩講法要

当別院において、過般10月13日（日）14日（月）にわたり宗祖親鸞聖人報恩講法要が勤修されました。

13日は逮夜法要・初夜法要、14日はお晨朝・日中法要。

今年度は、仏教音楽指導講師の太田敏子様にお越しいただき法要に先立って参拝者と仏教婦人会の会員の皆様と共に蓮如上人をたたえる歌「山科の路」を練習し唱和いたしました。

午後2時、逮夜法要では林輪番導師のもと電子オルガンの伴奏で法要がお勤まりになりました。

（※仏教音楽指導講師の太田敏子様に伴奏していただいたのは、蓮如上人ご誕生六百年記念法要以来です）

別院門徒の皆様並びに役員、崇敬区域のご寺院のご住職様、寺族の皆様をはじめ有縁の皆様など、2日間で180名の方にご参拝をいただきました。ご参拝くださいました皆様、誠にありがとうございました。

境内では、ボーイスカウト京都第50団の方々が甘味処としてコーヒーを参拝者に提供され参拝者と交流を深めました。

また、13日の初夜法要に向けて午後5時より本堂噴水前において、キャンドル工房「想庵」による蝋燭の点燭を行い、暗くなった境内に灯りをともしました。

蓮の華の形をした噴水からの水がしたたり落ちる音と蝋燭の灯りで、境内は幻想的で清らかな雰囲気になり、本堂に向かう参拝者の足元を照らしました。

逮夜法要に先立ち歌の練習をする仏教婦人会会員と太田敏子仏教音楽指導講師

本堂前の噴水のまわりに配置した蝋燭に点燭し、優しい灯りが参拝者の足元を照らしました。

成道会　12月8日

式典の様子

今年度はお釈迦様がお悟りを開かれた日であります12月8日（日）に、ボーイスカウト京都第50団・ガールスカウト京都第50団・土曜子ども会・本願寺山科別院仏教婦人会・松林雅楽会の皆様とともに成道会をお祝いいたしました。

当日は約250名の参加があり、9時30分からの式典では、献花献灯を松林雅楽会の奏楽のもとおこない、輪番が挨拶。引き続き杵入り式を行なってから餅を突き、突いたお餅をお昼に参加者全員でいただきました。

当日はフルートの演奏や土曜子ども会による人形劇、総代の小谷様によるマジックショーが行なわれ参加した子どもたちとの親睦を深めました。

フルートの演奏

輪番　杵入り式の様子

除夜会　12月31日

参列

点燭した、たくさんの蝋燭

12月31日午後11時に正門を開門し、参拝者を本堂に迎え入れました。本堂噴水前において、たくさんの創作蝋燭に点燭して参拝者をお迎えしました。蝋燭の光が優しく参拝者の足元を照らしました。

午後11時45分から除夜会のお勤めを輪番調声のもとお勤まりになりました。今年は昨年より多い70名以上の参拝がありました。

引き続き参拝者は、輪番の先導のもと別院南側にある鐘楼に向かい、午前0時、輪番が第一打を撞き、このあと参拝者が続きました。約250名の参拝者の撞く鐘の音が山科に響きわたりました。

境内ではボーイスカウト京都第50団が薪を燃やして参拝者に温もりを提供し、また伊勢講舎の前では甘酒が振る舞われました。

元旦会　1月1日

朝8時から本堂、中宗堂にて約10名の参拝者皆様とともに、元旦会がお勤まりになりました。

令和二年の新年をご仏前で感謝する、そんな尊い時間を参拝者と一緒に過ごさせていただいたことです。

蓮如上人月忌法要のご案内

毎月14日午後2時より、本願寺第八代蓮如上人の月忌法要をお勤めしております。

ご講師は4頁の年間法要・行事予定表をご参照ください。

（4月・8月・10月を除く）

皆様のご参拝ご参加をお待ちしております。

団体参拝について

随時、教区、組、寺院、その他の団体参拝の受け入れをいたし、皆様方のご参拝をお待ちしております。

お申し込みについては、本願寺山科別院ホームページから団体参拝申込書を印刷していただきFAXまたは郵送にてお願いいたします。